

# 池田新学長、抱負を語る

宇都宮大学の第22代学長に池田幸が就任しました。任期は本年4月1日から2025年3月31日までの4年間です。池田新学長にこれからの宇都宮大学が目指す姿を語ってもらいました。

いけだ つかさ  
**池田 幸 学長**

1956年東京都に生まれる。81年東京大学工学部工業化学科卒業。88年東京工業大学工学部助手。90年同大学生命理工学部助手。92年～93年ドイツ・ザールランド大学 博士研究員。97年広島大学工学部助教授。01年同大学大学院先端物質科学研究科助教授。02年宇都宮大学工学部教授。08年同大学大学院工学研究科教授。12年～14年同大学大学院工学研究科長。15年同大学理事・副学長。21年4月同大学学長。学位：工学博士（東京工業大学）

## 地域とともに学生の未来をつくり、 学生とともに地域の未来をつくる

### ■多様なステークホルダーとの「共創」

宇都宮大学が栃木県唯一の国立大学として地域の知の拠点であり中核となるべく、「地域とともに学生の未来をつくり、学生とともに地域の未来をつくる」をスローガンに掲げ、今まで以上に学生を大切に、より一層地域との連携を強めていきます。

キーワードは「共創」です。様々なステークホルダーと協働してともに新たな価値を創造するという概念です。これまでの地域連携、地域貢献はともすると一方通行になりがちだったと思います。共創とは常に双方向の関係性でお互いにブラッシュアップをしていくことです。様々な人や機関と連携しながらともに進んでいくことが宇都宮大学の姿だと考えています。教職員、学生、保護者、OB・OGはもとより、地方自治体、経済界、産業界、教育界など多様なステークホルダーの方々とともに様々な課題に対し意見交換・調整を行う中で今まで気付かなかった新たな視点、価値観が見出されることを期待しています。そのため協議体である「ステークホルダー会議」を新たに設置しました。双方の対話を重ねながら地域の特性、潜在力を活かして新たな社会価値を創出し、本学が中心となって「オールとちぎ」で地方創生推進モデルを発信していきたい

と考えています。

### ■「教職学協働」の推進

本学には教職員・学生の距離が近く、双方向で情報交換、交流ができる環境があります。コンパクトな大学ならではの強みを活かし、学生を含めた教職学協働で大学の改革に取り組んでいきたいと思えます。

例えば本学には、これまでも「ECHO（環境改善学生サポーター）」「JUST」「WILL」「図書館サポーター」\*という学生組織との教職学協働の実績があります。大学として学生の声・発想をしっかりと聞くシステムを考えていきます。

一人ひとりが能力を発揮して自ら成長させ続けられるよう働きがいのある、学びがいのある大学とするため全構成員によるビジョンの共有、協働というものを大切にしたいと思えます。

### ■「文理複眼」の視点

大学の研究・教育は最先端の研究のバックボーンがあつてはじめて教育にフィードバックされていくものです。研究力の強化はより良い教育を支えるために大切です。教育・研究においても分野融合、異分野連携が非常に重要になってきています。新たなアイデアや挑戦的な研究が生まれるための異分野間の議論や情報共有の場を

\* [ECHO]：学務部と協働で環境改善に取り組む。

[JUST] [WILL]：就職・キャリア支援センターと協働で学生によるキャリア支援、就活支援に取り組む。

[図書館サポーター]：附属図書館と協働で利用学生参加型の図書館づくりを進める。

池田学長にインタビューした学生たち（P4参照）と  
峰キャンパスのフランス式庭園で



提供したいと思います。

本学は他大学に先駆けて文理融合を進めてきましたが、大切なことは文系・理系で異なる学問的方法や思考スタイルに多く触れ、「文理複眼」の視点を持つことです。文と理は決してかけ離れたものではありません。私の専門は生物有機化学ですが、例えば「文」の英語と「理」の生物学のつながりです。「Hot」という英語には「熱い」のほかに「辛い」という意味があり、確かに辛いものを食べると体が熱くなる。それは熱を感じる受容体と辛さを感じる受容体が同じだからで、両方の意味があるのは生物学的にも正しいのです。文理の枠を越えた多彩な学びを

通して幅広い複眼的な思考能力を身につけ、多様な立場、視点から物事を見る姿勢は地域連携や地域貢献にも資すると考えます。

### ■ 学生目線の教育への転換

もう一つの視点は学生自身が自らの成長を実感できる「学修者本位の教育」です。今求められているのは「我々が何を提供したか」という「大学目線」の教育ではありません。学生たちが何を身につけ、自らの学びの社会的意味を理解し、社会の中でどういう立ち位置で活躍できるかなど、自らが成果を確認しながら学びの質を高めていく「学生目線」の教育への転換についても引き続き努めていきたいと思っています。

### ■ 新たな宇大スピリット

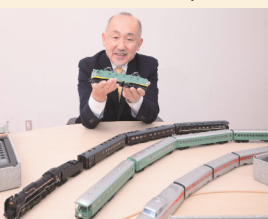
学長就任にあたり学生と地域の未来を見据えたスローガンを掲げましたが、もう一つ新たな宇大スピリットとして「3Cアクション」を提唱したいと思っています。

従来の「3C(Challenge、Change、Contribution) 精神」にプラスして、「Connect」「Commit」「Collaborate」という3C。他者との連携、関わり合い、融合を表現しています。「共創」という概念にもつながり、他者との関わりを大切にしながら、さらにもう一歩進もう、アクションを起こそうという思いが込められています。

### ◆ 趣味を通じた出会いから「共創」へ

私は少年時代からの自転車愛好家で、宇都宮大学着任後、自分で走ることはもちろん、「ツール・ド・とちぎ」や「ジャパン・カップ」、「宇都宮シクロクロス」など、栃木県内の自転車大会やイベントのお手伝い、栃木県サイクリング協会の運営などにも携わってきました。今後は、学長としての責務を果たすための体力作りに役立てたいと考えています。鉄道好き、アニメ好きと趣味も「複眼」ですが、これらの趣味を通して地元の様々な職種の方と知り合うことができ、そのつながりは大きな財産となっており、これからも大事にしていきたいと思っています。

ステークホルダー会議を設置し、いろいろな方々とともに進んでいくことになりませんが、趣味を通じた方々も含め、ネットワークを拡大したいと思っています。



### ◆ 池田学長ってどんな人？ ～教職員に聞いてみました～

- おもしろ引き出しがたくさんあって、実はちょっとやんちゃな先生。(えかおぞ)
- 研究者の高い資質、教育者の熱いマインドをあわせ持った方です。(JUN)
- 多様な声を聞きながら大局的な判断をされる方。(匿名)
- 見た目はジーニー(ランプの魔人)、でも実は心優しい鉄ちゃん！(宇大の海老蔵)
- 理論派です。会議等で議論になると、とつても手強い相手です。(ちよい悪おやじ)
- 自転車を深く愛する熱血漢、故郷(石川県)とのつながりを大切にしている一面も。(老眼進行中)
- 名の通り本学の教育・研究・運営をつかさどるトップ。(仁ちゃん)
- とちおとめのようなお人柄とコントロールのような判断力と行動力の持ち主ですね。(匿名)
- 注…とちおとめは味がしっかりしていて甘い苺。コントロールは速くてコース判断の早い馬。(匿名)
- ビックハート！いつもご迷惑かけてますが(すみません…)、とっても寛大なお心に救われています。(こたつねこ)
- 多趣味。フットワークが軽く意外な場所で会うことも。(元メタルキッズ)
- まじめで温厚で気さくな方で親しみやすい。(くにちゃん)
- 仲間と共に鉄道模型の運転や宇宙戦艦のメカの動きを楽しむ趣味人。(パープル・レインボー)